vinetur

2026年上半期、フランスのワイン輸出は2.2%減

米国需要の低迷がスパークリングワインの伸びを相殺し、米国向け購入額は金額ベースで9.8%減少した

2026年9月23日（水）



フランス税関のデータをスペインワイン産業間組織（OIVE）が分析したところによると、2026年上半期のフランスのワイン輸出は前年同期比2.2%減の54億ユーロとなった。輸出数量も1.5%減の6億1,890万リットルとなり、平均輸出価格は0.7%下落して1リットル当たり8.74ユーロとなった。

数字は、欧州のワイン貿易に見られる弱含みがイタリアに限ったものではなく、同国でも輸出の上半期はマイナスだったことを示している。ただしフランスの落ち込みはそれより小幅だった。金額ベースでは、なお世界最大のワイン輸出国である。

年初6カ月で、フランスの輸出構成の中で最も堅調だったのはスパークリングワインだった。フラ

ンスのワイン輸出の3分の1超を占めるこのカテゴリーは、2.6%増の19億ユーロに達し、数量は6%増の9,940万リットルとなった。数量の増加は単価上昇にはつながらず、輸出スパークリングワインの平均価格は3.2%下落して1リットル当たり19.19ユーロとなった。

金額ベースで米国は引き続きフランスワインの最大の海外市場だったが、購入は大幅に減少した。対米輸出は10億ユーロで、9.8%減だった。英国は7億460万ユーロで2位となり、3.8%増。ドイツは3億3,380万ユーロで11.3%減、ジャパンは2億9,250万ユーロで横ばいだった。

その他の主要仕向け先でも結果はまちまちだった。ベルギー向け輸出は2億9,040万ユーロで4.7%減。カナダ向けは2億3,930万ユーロ相当のフランスワインを購入し、4.5%減だった。スイス向け輸入は2億3,300万ユーロで12%減。アジアでは、シンガポール向けが8.4%増の2億2,900万ユーロとなり、香港向けは主要市場の中でも最も大きな伸びの一つを示して17.8%増の1億7,910万ユーロだった。オランダ向けは0.9%増の2億730万ユーロとなった。

数量ベースでも、米国は上半期のフランスワイン最大市場で、9,530万リットルを輸入し、4.3%増だった。ドイツは7,880万リットルで2位、6.1%減。英国は7,670万リットルで8.5%増となった。ベルギーは5,680万リットルで6.9%減、オランダは4,870万リットルで6.7%減。カナダは3,160万リットルで2.4%減、中国は1,410万リットルで11.1%減だった。

スパークリングワイン、瓶詰めワイン、バッグインボックス製品を含む広義のパッケージワインが、引き続きフランス輸出の中心だった。2026年上半期のパッケージワイン輸出は金額で2.1%減、数量で0.7%減の53億2,100万ユーロ、5億5,890万リットルとなった。同分野の平均価格は1.3%下落し、1リットル当たり9.52ユーロだった。

バルクワインの輸出はさらに大きく弱含んだ。同カテゴリーの対外販売は金額で7.9%減、数量で8%減となり、総額8,890万ユーロ、5,990万リットルだった。より広い輸出市場とは異なり、バルクワインの価格はほぼ横ばいだった。平均価格は0.1%上昇し、1リットル当たり1.48ユーロとなった。